

前回いただいた主なご意見

(市民への協働に関する意識啓発イベント 実施方法について)

1. 実施方法

	前回いただいたご意見(概要)	
事例発表	(1)がっつり地域活動をされている内容の発表 (2)かっこいい要素、今までになかった要素がある内容の発表 (3)なぜ事業を始めたのかを発表してもらう。 (4)ソーシャルビジネスの要素、ソーシャルビジネスにつながらなくてもいいが、そういった観点が必要 (5)活動内容をまとめた掲示物を用意して、会場で展示発表を行う。 (6)市制 70 周年記念補助金採択団体に、どんな活動をしたのか、活動のきっかけを発表してほしい。	
	事例発表者の集め方	(1)市制 70 周年記念補助金採択団体の中から事例発表をしてほしい事業や話を聞きたい事業を選ぶ。 (2)市制 70 周年記念補助金採択団体にアンケートを実施して、良かった点や今後の課題等をまとめる。その結果を見て事例発表をしてほしい団体に声をかける。 (3)新たに活動を始められた団体に声をかける(市制 70 周年記念補助金申請団体、TaCoLAB メンバーがご存じの団体など。)
相談会 or ワークショップ	(1)話題をいくつか用意して、複数の話題から選択して参加してもらう。 (2)相談内容やワークショップの話題によって部屋を分ける。 (3)同じきっかけで活動を始めた人同士で情報共有ができ、仲間ができるような雰囲気づくり (4)TaCoLAB のメンバーもグループに入る。 (5)事例発表とは別日に相談会の場を設ける。	

その他	(1)ポスターセッション	活動の動機や経緯を書いた模造紙を展示して、団体から説明をする。説明時間は 10～15 分でいろいろな団体をまわる。
	(2)団体の活動場所の掲示	団体の活動について話を聞きたい、団体の方とお会いしたいという方のために活動場所を案内する。

2. 開催場所

(1)ご意見(概要)

- ア 開放的な場所で実施できたら通りすがりの人にも興味を持っていただけるのではないかな。
- イ 市役所オープンスペース(屋外)で実施するなら開催時期の検討は必要。
- ウ メイン会場と小さな会場での同時開催
- エ 会場のレイアウトをイメージしながら実施方法を考える。

3. その他、ご意見(概要)

- (1)子どもが楽しめるスペース等、ブースやイベントのネーミングが重要
- (2)イベント実施後、発表の内容を公開する。
- (3)人数ではなくて質を大事にしたい。お互いがつながればいいという評価で、人数が多ければいいというわけでもないのではないかなと思う。